

報道各社御中 ← 環境省広報室

東京都での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う
野鳥緊急調査チームによる調査の結果について (H29.2.21 14:00)

東京都足立区において2月3日に回収されたオナガガモ1羽から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出されたことを受けて、2月20日(月)に野鳥緊急調査チームを現地に派遣し、現地の野鳥の生息状況等の調査を実施しましたので、以下のとおり結果をお知らせします。

1 調査結果

○2月20日に、東京都足立区の発生地点周辺半径10km圏内の野鳥監視重点区域内の、渡り鳥の飛来地等の計9地点において生息状況調査、死亡野鳥調査等を実施。野鳥の大量死は認められなかった。

○東京都、千葉県及び埼玉県等により調査期間内に野鳥監視重点区域内で回収し検査した死亡野鳥等は認められなかった。

(参考)

- 観察された鳥類 39種
- うち、リスク種1 3種 (キンクロハジロ、コブハクチョウ、チョウゲンボウ)
- リスク種2 8種 (ユリカモメ、オオバン、オナガガモ等)
- リスク種3 11種 (ヒドリガモ、ハシビロガモ、コガモ等)

*本調査結果は暫定値です。

*リスク種とは:「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」において、感染して死亡しやすい種を中心に設定

2 今後の対応

野鳥監視重点区域において、東京都、千葉県及び埼玉県等と連携し、引き続き野鳥の監視を実施。

※ 環境省はホームページで野鳥における高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成29年2月21日(火)

自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室

直 通：03-5521-8285

代 表：03-3581-3351

企 画 官：東岡 礼治 (内線6475)

鳥獣専門官：根上 泰子 (内線6676)

関東地方環境事務所野生生物課

直 通：048-600-0817

課 長：澤 邦之

広域鳥獣保護管理専門官：鈴木 真野